

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 4月

令和5年4月1日の推計人口 1,270,358人  
世帯数 556,328世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、  
世帯数：558,230世帯

### 1 推計人口

令和5年4月1日現在の推計人口は、1,270,358人で、前月(1,276,619)に比べ6,261人の減少となった。

人口増の市部はなかった。佐世保市(△1,901)、長崎市(△1,425)、対馬市(△361)、壱岐市(△290)、五島市(△290)、島原市(△269)、雲仙市(△263)、大村市(△234)、南島原市(△182)、平戸市(△157)、松浦市(△117)、西海市(△89)、諫早市(△81)の13市で減少した。

郡部でも人口増はなかった。長与町(△248)、新上五島町(△188)、川棚町(△58)、佐々町(△34)、波佐見町(△28)、小値賀町(△22)、時津町(△18)、東彼杵町(△6)の8町で減少した。

自然動態は、出生数687人、死亡数1,743人で1,056人の減少、社会動態は、転入者数10,106人(県内転入を含む)、転出者15,311人(県内転出を含む)で、5,205人の減少となった。

### 2 世帯数

令和5年4月1日現在の世帯数は、556,328世帯で前月(556,679)に比べ351世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計=R2 国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 2月

1人当たり現金給与総額 243,658円  
対前月比 0.4%増加  
対前年同月比 1.4%増加

### 1 賃金

2月の常用労働者1人当たりの賃金をみてみると、現金給与総額は243,658円で、前月に比べ0.4%増加し、前年同月に比べ1.4%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は241,687円で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ1.9%増加した。

特別給与額は1,971円で、前年同月に比べ、991円減少した。

### 2 労働時間

2月の常用労働者1人当たりの労働時間をみてみると、総実労働時間は143.1時間で、前月に比べ3.1%増加し、前年同月に比べ4.3%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は132.1時間で前月に比べ3.6%増加し、前年同月と比べ、3.9%増加した。

所定外労働時間数は11.0時間で、前月に比べ1.7%減少し、前年同月に比べ10.0%増加した。

### 3 雇用

2月の常用労働者数は205,483人で、前月に比べ、2.8%減少し、前年同月に比べ2.9%減少した。

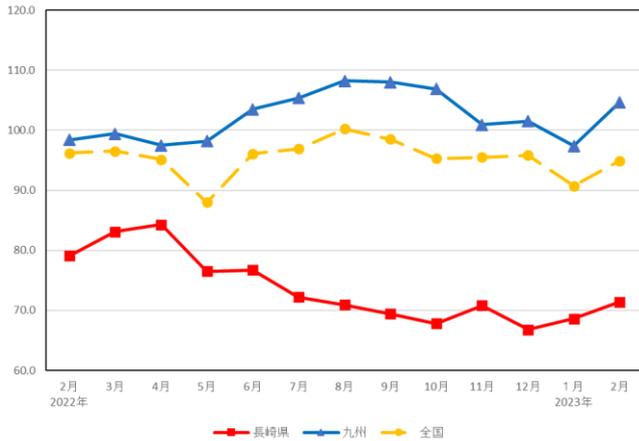
【鉱工業生産指数】……………2月

令和5年2月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	71.4	4.1	64.4	△8.0
九州	104.7	7.5	101.2	7.5
全国	94.9	4.6	92.0	△0.5

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



2023年2月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が71.4で対前月比は4.1%の増、原指数は64.4で対前年同月比は8%の減となった。

業種別にみると、窯業・土石製品工業、食料品工業、電子部品・デバイス工業など8業種が上昇し、電気機械工業、はん用・生産用機械工業、輸送機械工業など5業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
窯業・土石製品工業	9.3	生コンクリート
食料品工業	9.1	その他の調味料
電子部品・デバイス工業	8.7	半導体集積回路

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	△18.1	交流電動機
はん用・生産用機械工業	△11.8	蒸気タービンの部品・付属品
輸送機械工業	△0.5	修繕船

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………3月

総合指数(R2=100)

104.1

対前月比(%)

+0.6

対前年同月比(%)

+3.2

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、104.1である。

前月比+0.6%で、主な上昇要因は「食料」の+1.4%、「教養娯楽」の+1.3%であり、主な下落要因は「光熱・水道」の△0.8%である。

前年同月比は、11月は+4.1%、12月は+3.7%、1月は+4.0%、2月は+3.1%と推移した後、3月は+3.2%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.7で前月比+0.6%の上昇であり、前年同月比は+3.0%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

家具・家事用品	2.3%
食料	1.4%
教養娯楽	1.3%
被服及び履物	0.4%
交通・通信	0.3%
保健医療	0.3%
諸雑費	0.2%
教育	0.1%

▽同水準の費目

住居	±0.0%
----	-------

▽下落した費目

光熱・水道	△0.8%
-------	-------

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………3月

消費支出(一世帯当たり) 316,403円

前月比 32,850円増(11.6%増)

令和5年3月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は316,403円で、前月比11.6%の増、前年同月比は0.4%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は82.3%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。